

微笑みは永遠に

日本とロシアを愛した ニコライ・ドミートリエフ神父

スヴェトラーナ山崎ひとみ著

四六判・並製・230 頁 定価 1,650 円 (本体 1,500 円 +税) ISBN 978-4-7642-9995-5 C0016

作家 桜木紫乃氏·佐藤 優氏 推薦!

ソ連共産党政権時代にレニングラード神学校で出会った日本人女性と結婚、ペレストロイカ、ソ連崩壊を経て、日本へ移住したニコライ・ドミートリエフ。 宣教師ニコライ以来のロシア人「ニコライ神父さん」として 函館ハリストス正教会で愛され、宗教の枠を超え日露の文化交流に尽力するも 59歳で逝去した。その生涯をあたたかなユーモアを交えて描くエッセイ。

巻末に、30頁で読める通史「ロシアとロシア正教会」を収録!!

目次より

第1章 祖国にて

第2章 日本へ 第3章 東京、神戸

第4章 函館

この本をお読みくださる方への手引き ――ロシアとロシア正教会 著者 スヴェトラーナ山崎ひとみ 長野県生まれ。1984年上智大学外国語学部ロシア語学科卒業。 対ソ専門商社勤務を経て、ロシア正教会レニングラード(現サンクトペテルブルク)神学アカデミーへ留学、 1988年同アカデミー附属聖歌指揮科卒業。1990年モスクワにてニコライ・ドミートリエフと結婚。現在、 ロシア語通訳協会会員。ロシア語通訳・翻訳者、エッセイストとして活動中。

著訳書 ニコライ・ドミートリエフ著『ロシア人・日本人――きっとわかりあえる 黒猫が怖いニコライ 神父のハートフルエッセイ』(ボロンテ、2001年)、函館ハリストス正教会史編集委員会編『函館ハリストス正教会史』(共著、函館ハリストス正教会、2011年)